

5. 平成27年前期勉強会・「防音対策の初歩」開催報告

一般社団法人日本音響材料協会
(Acoustic Materials Association of Japan)

本協会主催の「平成27年前期防音勉強会(講師：宮尾健一氏)」を5月27日(水)、6月3日(水)、三田・ローレル三田会議室において開催した。



本年も「ゼロからのスタート、数式が苦手なビギナーを対象とした防音の勉強会」として募ったところ多数の聴講希望を頂いたため、春季は2回開催することとなった。

聴講された方の所属は、音響材料メーカー、音響工事企画設計会社、建築設計関係者、音響工事施工店、報道関係者、住宅問題相談関係者、建築を学んでいる学生の皆様などで、身近に音問題があり、防音に関心を持たれている方たちであった。講師は長年、数多く



の音問題の現場経験や規格制定等に携わってこられた方であり、基本的な理論と技術データを提示しつつ解りやすい技術解説に努めてくれた。

冒頭、社会問題にもなったピアノ練習時の周囲からの苦情に対する対策はどうすべきだったのか? なぜ、ピアノの音を防音することが難しいのか? の問いかけから始まった。そして「音について、まず知っておくべきこと」の解説、(1)防音のイロハ (2)間違いやすい用語 (3)防音対策の常識とは? などについて説明された。

音の伝わり方は空気伝搬音(車の騒音、人の声など)と固体伝搬音(床衝撃音、コンクリート壁の振動からの音など)があり、それぞれの音源の種類に対する対策の必要性の解説があった。

防音するための種々の遮音材料、吸音材料について、音響性能を確保するための工法などが紹介された。

床衝撃音関係では、測定法として、バングマシン、タッピングマシン、インパクトボールの説明と、床衝撃音伝搬のメカニズムと有効な対策の解説があった。

また、固体の振動が音の発生となるので機械設備などの振動を防止することが重要な防音対策になることなどが詳しく説明された。



最後に講師からは、事後の質問や意見交換、対策の検討にも適宜協力させてもらうとのコメントも戴いた。

防音勉強会はビギナーを対象としたものだが当協会では例年「音響基礎講習会(7月)」と「技術講習会(11月)」を開催しており、これらにもつながる「勉強会」となったことと思う。

今後も、日ごろ疑問に思っている防音問題に対して音の専門家ではない方に対して解決する手段を学ぶ機会として「防音勉強会(春季、秋季の2回)」を開催していく予定である(次回は10月21日開催予定)。